

ドラえもんがいてくれたらと、今日も思う。

村上隆「あんなこといいな 出来たらいいな」(部分) ©2017 Takashi Murakami/Kaikai Kiki Co., Ltd. All Rights Reserved. © Fujiko-Pro

THE

ふるさと展

TAKAOKA 2018

2018年3月16日(金)～5月6日(日) 月曜日休館(ただし、3月26日、4月2日、4月30日は開館)

会場: 高岡市美術館(富山県高岡市中川1-1-30)

開館時間: 午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)

観覧料: 一般/1,300円(前売・シニア・団体 1,100円)、ふるさとギャラリー共通券 1,600円
 中学・高校生/1,000円(前売・団体 800円)、ふるさとギャラリー共通券 1,200円
 4歳～小学生/500円(前売・団体 400円)、ふるさとギャラリー共通券 600円

※“ふるさとギャラリー”とは、“高岡市 藤子・F・不二雄 ふるさとギャラリー”(高岡市美術館2階)のことです。

※団体は20名以上。シニアは65歳以上。3歳以下は無料。 ※身体障がい者・精神障がい者保健福祉・療育など各種手帳をお持ちの方、および付添いの方(1名)は半額です。手帳をご持参ください。

※ふるさとギャラリー共通券は、当日窓口でのみお求めいただけます。 ※共通券をお持ちでない方が2階ふるさとギャラリーをご覧いただく場合は、別途、ふるさとギャラリー入口で当日券をお求めください。

※未就学児童の入場は、保護者の同伴が必要です。

- 主催/ THE ドラえもん展 TAKAOKA 2018 実行委員会(高岡市、高岡市美術館・公益財団法人高岡市民文化振興事業団、北日本放送)
- 共催/ 高岡市教育委員会 ●後援/ 富山県、富山県教育委員会、朝日新聞富山総局、北日本新聞社、富山新聞社、北陸中日新聞、毎日新聞富山支局、読売新聞北陸支社
- 特別協力/ 藤子プロ、川崎市 藤子・F・不二雄ミュージアム、高岡市 藤子・F・不二雄ふるさとギャラリー
- 企画・制作/ THE ドラえもん展 TOKYO 2017 実行委員会(テレビ朝日、朝日新聞社、ADK、小学館、シンエイ動画、小学館集英社プロダクション、乃村工藝社)

お問い合わせ: 0766-20-1177 実行委員会事務局(高岡市美術館内) 美術館公式HP <http://www.e-tam.info/>

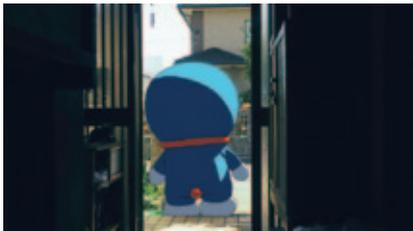
ドラえもん × 28組のアーティスト



奈良美智「依然としてジャイアンにリボンをとられたままのドラみちゃん@真夜中」キャンバス、アクリル ©YOSHITOMO NARA ©Fujiko-Pro



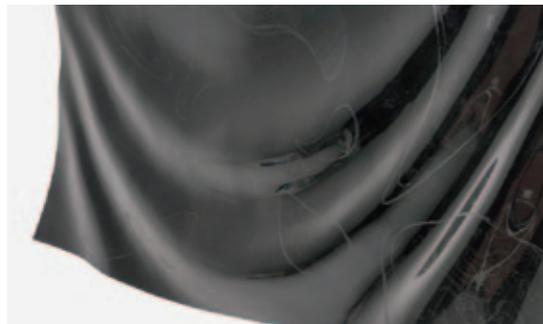
山口英紀「ドラえもん ひみつ道具図典〜タケコブター〜」紙本水墨 ©Hidenori Yamaguchi ©Fujiko-Pro



佐藤雅晴「かくれんぼ」シングルチャンネル・ビデオ / 歌声：二階堂和美 ©Masaharu Sato ©Fujiko-Pro



梅佳代「私の家のドラえもんの写真」タイプCプリント ©2001 Kayo Ume



渡邊希「タイムドラベル」乾漆 ©Nozomi Watanabe ©Fujiko-Pro



蛸川実花「ドラちゃん1日デートの巻 2017」インクジェットプリント、合板 ©mika ninagawa ©Fujiko-Pro



中里勇太「運んだゆめときぼう」織、彩色 ©Yuta NAKAZATO, FUMA Contemporary Tokyo | BUNKYO ART ©Fujiko-Pro



鴻池朋子「しずかちゃんの洞窟」牛革にクレヨンでドローイング、毛皮（四次元ポケット） ©Tomoko KONOIKE ©Fujiko-Pro



坂本友由「僕らはいつごろ大人になるだろう」(部分) キャンバス、アクリル ©Tomoyoshi Sakamoto ©Fujiko-Pro



増田セバスチャン「さいごのウエポン」立体 (巨大ぬいぐるみ) ©Sebastian Masuda/Lovelies Lab. Studio ©Fujiko-Pro

参加アーティスト ※◎は 14 年前の「THE ドラえもん展」にも出品したアーティストです



「あなたのドラえもんをつくってください。」

国内外で活躍する28組のアーティストたちに、こんなお願いをしました。

1970年の掲載開始以来、日本中に夢を届けてきたドラえもん。みなさんの心の中にも、思い出のドラえもんや、いつでもそばで優しく助けてくれるドラえもんの姿が、刻まれているのではないのでしょうか。

変わりゆくこの時代の中で、アーティストたちに「あなたのドラえもん」を表現してもらったら、どんな世界が生まれるだろう。何を願い、未来へ何を伝えてくれるだろう。

2004年に高岡市美術館でも開かれた「THE ドラえもん展」から十数年、様々な発想や技法によって生み出された新たな作品をお届けします。

ドラえもんが、またあなたのそばに。

交通のご案内

- 北陸新幹線 新高岡駅より 富山駅前バス(高岡駅経由)「中川」下車、徒歩2分
- 高岡駅より 徒歩約20分(北東約2km)
- JR氷見線「越中中川駅」下車、徒歩2分
- 万葉線「志貴野中学校前電停」下車、徒歩10分
- 職業安定所前行バス「工芸高校前」下車、徒歩1分
- 自動車で 能越自動車道 高岡北ICから約10分、高岡ICから約15分 北陸自動車道 小杉ICから約20分、高岡砺波スマートICから約20分

※高岡市美術館地下駐車場(9:00~18:00)は2時間まで駐車料金無料 ※高岡文化の森駐車場(屋外)は駐車料金無料

前売券プレイガイド(3月15日(木)まで販売)

- 高岡市美術館ミュージアムショップ
- 富山・高岡市内主要プレイガイド
- 高岡市生涯学習センター(ウイング・ウイング高岡3階)
- アーツナビ(富山県民会館、富山県教育文化会館、富山県高岡文化ホール、新川文化ホール)
- ローソンチケット(Lコード:56386)

